

## 教員と司書で創り出す情報生産拠点

—メディアとしての大学図書館(その2)

文学部人間関係学科

濱野 健 (HAMANO Takeshi)

前回、この「図書館だより」に私のコラムが掲載されたのは2019年の春の第199号でした。コラムでは、図書館は情報生産の拠点となる「メディア」だと書きました。このメディアという言葉を用いて、図書館で整備されている様々な資料やサービスが情報の獲得に有用であるのみならず、図書館のコンテンツを活用することで新たな情報を生産できる点を強調しました。それから瞬く間に数年が経ちました。このたび再びここにコラムを寄稿する機会をいただきましたので、その期間中に他の教員や司書さんたちと取り組んできた本学図書館における教育研究支援の発展に向けた研究活動の紹介を通して、私たち自身が図書館というメディアからどのような情報生産を実践してきたのかを報告します。

事の発端は2019年のことでした。その前年に在外研究で在籍した米国の大学で、現地の司書の方々に大変お世話になりました。そこで本学でも司書の皆さんと教員が学生の教育活動や研究活動に共に取り組むことができないかと考えるようになりました。やがて同じ関心を持つ教員や司書さんたちと出会い、それが2019年度から2023年度(現時点)まで長く続けてきた、学生の学修支援と教員の研究支援のための共同研究プロジェクト、通称「図書館プロジェクト」に結実しました。プロジェクトでは以下の三点に焦点を当ててきました。一つ目は

大学図書館におけるデジタルリソースの保存と活用。次に、留学生や多様な背景を持つ学生の利用を促進する多種多様な環境整備。最後に、隣接する文化施設との連携事業です。それらの方針に沿って、図書館を活用し、教員や学生そして司書たちが一緒に参加する様々な実践型の研修やイベントの運営を展開しそこからフィードバックを得たり、あるいは図書館利用者への調査とその分析を実施したりしてきました。毎年の研究活動の成果は報告論文にまとめ活動で培われた情報へ誰もが自由にアクセスし資源活用できるようアーカイブ化するなど、活動の成果公開も積極的に行ってきました([こちら](#)を参照)。

2020年度から22年度の間、新型コロナウイルス感染症の拡大により図書館が従来とは全く異なる環境下で施設運営を迫られたため、研究活動にも大きな影響が出ました。しかしこうした逆境はむしろ、図書館でこれまで提供できなかったデジタルな環境を活用した新たな学修支援体制を考え、限られた条件の中で持続可能なサービスを積極的に導入する貴重な機会をもたらしました。また研究活動にて館内に



貴重な歴史的史料が「再発見」され、その資料的価値を理解し適切な保存管理の方法を習得することで、館内貴重図書の展示会が実現しました。演習や実習などの教育活動で実際に手に取って触れることのできる史料としても活用されることでしょう。他にも、2022年度から翌23年度には地域の文化施設との連携事業として、北九州市漫画ミュージアムからの寄贈マンガによる特設コーナーの設置、そしてその寄贈書を活用した学生ワークショップを実施しました。2023年度には、関連する先生方のご尽力により、所有者のJR九州の許諾のもと旧鉄道省門司鉄道局の「局報」という日本鉄道史上大変貴重な資料が本学図書館に寄託されました。こうした諸企画のために外部から招聘された専門家たちと図書館司書の皆さんとの研修の積み重ねによって、教育や研究のためにデジタル資料から貴重図書に至る幅広い資料／史料を活用したいと考える教員や学生のための情報生産拠点として、本学図書館は着実に成長しつつあります。

○【北九州市立大学「北九マンガと社会」研究プロジェクト成果報告】展示中！！

作製されたポスター3点を本館1Fマンガコーナーに展示しています。

『フルーツバスケット』『もやしもん』『聲の形』、3作品についての研究成果をぜひご覧ください。

※マンガコーナーは北九州市漫画ミュージアムから寄贈された資料を基にしています



この数年の間、私たち教員と図書館のスタッフが大学図書館というメディアを介し学生の学修支援や教員の研究支援に関するコミュニケーションを絶やすことなく、予測不可能な社会的情勢に直面することがあっても、お互いの立場の違いを尊重しつつ研究活動を続けてきたことは、本学における教職連携の一つの可能性を拓いたといえます。さらなる学修支援や研究支援のために大学に必要不可欠な「専門家」である図書館職員への期待も、学内ではますます高まりつつあるようです。日々の各種業務から培われた経験と知識を有した図書館の皆さんもまた大学図書館における情報生産者なのです。このように私たちのプロジェクトは図書館というメディアを介して様々な情報を生産・発信してきました。そうした場所で学生の皆さんが図書館司書や教員と出会うとき、どのような創造的な機会に発展するのでしょうか。ぜひ図書館へ足を運んで確かめてください。

○今年も図書館ミニツアーを開催します！

学内者の方なら誰でも参加OK！

図書館職員と一緒に図書館を回ってみませんか？

2024. 4/5(金)・8(月)・9(火)

各日 午前10時～13時・午後14時～17時

！！事前申込不要！！

参加希望日時に直接図書館にご来館ください！

○図書館サポータープレゼンツ

新入生歓迎展示やっています♪

本館1階ギャラリー(玄関入って右奥)と、

本館2階(階段上ってすぐ!)にて開催中★

\* \* \* \* \*

図書館サポーターとは

「図書館を盛り上げよう！」と活動している学生の集まりです。気になる方は職員にお尋ねください。

# 大解説 北九大図書館 & 小倉南図書館

北九州市立大学図書館の近隣図書館には北九州市立小倉南図書館があります。  
今回は2つの図書館を図書館サポーターが取材し、特徴やサポーターおススメスポットを紹介します。



3Fの階段状の閲覧席ではゆっくり読書ができます

SDGsやSOGI関連の本も充実しています



シークレットブックは何の本が入っているかお楽しみ♪

食事はゲート外の休憩スペースで



図書館は本館と書庫に分かれています

## 北九州市立大学図書館

場所：北九州市小倉南区北方 4-2-1

蔵書数：約 61 万冊

開館時間：月～土 8：55～21：30

日・祝日 10：00～18：00 ※書庫棟は開館時間が異なります

※休館日や長期休暇期間中の開館時間はHPでご確認ください

コレクション：文系の専門書・貴重資料など

特徴：雨水利用による屋上緑化や太陽光パネルによる発電など環境配慮型の建物です



北九大図書館のHPはこちらから



## 北九州市立小倉南図書館

北九大から徒歩約10分

場所：北九州市小倉南区若園 4 丁目 1-60

蔵書数：約 20 万冊

開館時間：平日 9:30～19:00(土・日・祝日は 18:00 まで)

※休館日はHPでご確認ください

コレクション：小説・エッセイ・子育て関連・児童書・実用書など

特徴：子育て世帯に向けたサービスも充実しています

和田館長に伺いました



小倉南図書館のHPはこちらから



書架が低く通路も広い設計なので、車椅子やベビーカーでも安心



3Fのテラスはおススメスポットです



小倉南区出身です



気象学の権威、藤田哲也氏に関する展示コーナーもあります

1Fにはカフェスペースもあります

## 私、図書館で働いてました!

第14回は、2024年3月まで働いてくれたアルバイトのみなさんにお話しを伺いました。全員が約3年働いてくれたベテランさん!長い間本当にありがとうございました。

### Q1. 図書館で働くことになったきっかけは?

松永(永): 実習の先生の紹介です。

松浦(浦): 友人の紹介です。

尊田(尊)/堀切(堀): 図書館でアルバイトをしていた部活の先輩からの紹介。

堀: とても良い職場で本に

元々興味があったので

働いてみようと思いました。



### Q2. 実際に働いてみて感じたことは?

永: 図書館には面白い人が沢山!

浦: 図書館は想像以上の

使い方があり、ただ本を

読みに来たり、教科書を

広げて勉強するためだけの

場所ではないということを、

働く立場になって漸く実感しました。



### Q3. アルバイトをしていて好きな作業は?

尊: 配架(資料をあるべき書架へ配置する)作業です。

堀: 本のクリーニングをする作業です。

作業中に気になる本を

見つけることがあり

飽きない作業だなと

感じていました。



### Q4. 北九大生に一言どうぞ!

浦: いつも丁寧にご利用いただきありがとうございます。「読んだ本はブックトラックに返却する」等の細かいけれど大切なルールの数々を守って頂き大変助かりました。今後もよろしくお願いいたします。

尊: 面白い本がたくさんあるので、試験期間中でない日にも是非図書館にいらしてください。

堀: 北九大の図書館はとても丁寧に本を管理していて職員さんもとても優しいです!ぜひ積極的に利用してみてください。

永: とにかく沢山図書館を使ってください!!

ご協力ありがとうございました。



# よむけんの仲間たち

(図書館サポーターのページ)

## 「北九大×九工大 推し本コンテストを開催しました！」

九州工業大学図書館学生サポーターとの合同展示企画「北九大×九工大 推し本コンテスト」を開催しました！

2017年度より九州工業大学図書館学生サポーターとの合同研修会を実施していますが、今年度は研修成果として、4ジャンル（恋愛、ミステリー、日常、ホラー）ごとに両校のサポーターがおすすめる「推し本」を各図書館内で紹介し、来館した学生の投票によって、最も推される「推し本」を決めよう！という展示企画を実施することになりました。両校のサポーターが11月から様々な話し合いを重ね準備を進めました。投票期間は2024年1月15日から29日までの2週間でしたが、工夫を凝らした推しポイント紹介文の展示や投票用のオリジナルシールの作成など、みなさんが投票したくなる展示を目指しました。投票結果は、サポーターだより号外にて詳しく掲載していますのでそちらもご覧ください。投票してくださった皆さん、投票ありがとうございました！（文3年生 生盛）



▲九工大での話し合いの様子



▲コンテスト開催の様子

サポーターが選ぶ

## ダイバーシティ関連図書

『図書館だより No.208』でも特集した「ダイバーシティ関連図書」ですが、今回は図書館サポーターが選ぶダイバーシティ関連図書を紹介します。

### ●ダイバーシティ関連図書とは・・・？

ダイバーシティ関連図書とは、多様性に関する資料のことです。多様性に関する資料は、あらゆるジャンルにわたっています。ひとくちに多様性と言っても、社会、民族的背景、異なる性別、性的指向など……世界は多様性にあふれています。それは図書館の本に置き換えても同じことです。どの分野にも多様性に関する本はあるのです。北九大図書館ではそれらの本に印をつけていくことにしました。背ラベルの上にも色々な色で『ダイバーシティアンドインクルージョン』という文字をつけています。様々な場所にあるダイバーシティ関連図書を見つけてみてください。

### 『82年生まれ、キム・ジョン』

チョ・ナムジュ 著 斎藤真理子 訳 筑摩書房  
(図書館所蔵有 請求記号：929.13/C52)



高校時代に、先生から勧められたことがきっかけで読みました。主人公が人生を振り返りながら、今まで周囲から言われてきたことや、抱いていた価値観が本当に当たり前なのかを考えます。皆さんに一度は読んで欲しい一冊です。  
(文3年生 真武)

### 『「女子」という呪い』

雨宮処凛 著 集英社クリエイティブ  
(図書館所蔵有 請求記号：367.21/A42)



「夫の不倫を謝罪する」妻。頑張れと言われつつも、男以上に成功するなどという社会。そんなもやもやすることにく「女子」という呪い」と名づけ、色々なもやもやが書かれています。女性の敵は男性だけではなく、社会だったり同性だったりするところを、この本で知って欲しいと思いました。  
(文3年生 今村)

### 編集後記

今号でもお知らせしている春の図書館ツアー、昨年もお好評をいただきました。授業で訪れていただくツアーとは違い、ご希望の場所をご案内することもできます。担当職員に「こんな本読みたいんですけど…」なんてご相談をいただいても結構です。また、ツアーの期間外でも各種相談、問い合わせなどお気軽にどうぞ。  
(図書館員 伊崎)

### 北九州市立大学図書館

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1  
TEL：093-964-4403 FAX：093-964-4437  
e-mail：lib-2@kitakyu-u.ac.jp

### ■開館時間■

月～土曜日：午前8時55分～午後9時30分  
日・祝日：午前10時～午後6時  
休館日等は館内やHPの開館カレンダーをご確認ください。  
URL：https://www.kitakyu-u.ac.jp/lib/

北九州市立大学図書館

図書館だより No.209

■発行日■

2024年4月

■発行者■

北九州市立大学  
情報化推進課